

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ● 国語への興味・関心・意欲を深め、適切に表現したり読書の範囲を広げたりする。 ● 相手や目的に応じて、筋道立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたり、進行に沿って話し合ったりする。 ● 相手や目的に応じて、段落相互の関係などに注意して文章を書く。 ● 目的に応じ、内容の中心を捉えたり、段落相互の関係を考えたりしながら読むとともに、幅広く読書しようとする。 ● 伝統的な言語文化に触れるとともに、言葉の特徴や決まり、文字の使い方などについて理解して、適切に用いる。 ● 文字の形や大きさ、配列、筆圧などに注意して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉に関心をもちやすい学習環境を整えるために、辞書を用いて、言葉や漢字の意味に興味を持たせたり、読書の機会を多く設定したりする。 ● 文章表現力を高めるために、書く活動を多く設定する。その際、伝えたい事柄を焦点化させ、構成メモなどを活用して、中心となる内容や順序に気を付けて文章を書くようにする。 ● 説明的な文章において、文章の構造を捉えることができるように、順序を表す言葉や指示語に気を付けられるようにする。 ● 文章を分かりやすく要約できるように段落と段落の相互関係を捉えられるようにする。また、引用の出典等を明らかにさせて、情報に対する意識を高める。 ● 文学的な文章において、想像したことや表現したことに自分の考えがもてるように、心に残ったことを中心に授業を組み立て、叙述を基に想像しながら読むよう働き掛ける。 ● 詩や俳句など、伝統的な言語文化の暗唱などをさせ、美しい言葉に触れさせたり、リズム感を養ったりする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会に対する関心を深め、地域社会の一員としての自覚や誇り、愛情をもとうとしている。 ● 地域社会における人々の健康な生活や良好な生活、環境及び安全を守るための諸活動について、理解する。 ● 地域における社会的事象を観察、調査するとともに、具体的資料を効果的に活用する。 ● 地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考え、地図や各種の具体的資料を活用し、調べたことや考えたことを表現する。 ● 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動、地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「わたしたちの東京都」では、東京都の地形・土地利用・交通等に目を向けさせ、住んでいる地域の特色を知るとともに、他の道府県を調べるときに生かすことができるようにする。 ● 水やごみの学習では、自分たちの生活の中から課題を見つけさせ、課題意識をもって学習に取り組ませる。下水道の出前授業や清掃工場の見学を通して、課題解決のための手だてや今後の生活について考えられるようにする。 ● タブレットを活用し、児童に必要な資料を配付したり、リアルタイムで児童の感想や質問を全員で共有したり、また、一人一人の学習のまとめをプレゼンテーションとして発表したりしながら、学習を深めていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ● 数量や図形の性質や関係を調べたり筋道立てて考えたりすることのよさに気付き、すすんで生活や学習に活用しようとする。 ● 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について見通しをもち筋道立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付ける。 ● 答えのおおよその見当を付けたり、角度の大きさを予想したりする力を身に付けるとともに、問題の把握をし、筋道を立てて考えることができるような力を身に付ける。 ● 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数、小数及び分数の意味と表し方、計算の意味、面積などの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 少人数の授業を生かし、個々の課題に応じた指導を計画する。 ● ICT教材を使用して、実際に作図の様子を見せたり、拡大して手元を見せたりしながら作業することで視覚的にも分かりやすい指導をする。 ● グループワークやペアワークを取り入れることで、自分の考えだけでなく、他の考えも学び、より考えを深めることができる授業を展開する。 ● 具体物の操作や問題解決を繰り返しながら、基礎力の確認と定着を図る。適宜ノートを確認して計算や作図の方法を細かくチェックをする。 ● 方眼を意識したノートの作成に力を入れていく。一単位時間の学習内容が児童自身で振り返ることができるようにする。 ● 学習したことを活用して、日常生活や社会の事象と結び付け、生活に根ざした学習展開にする。 ● 筋道を立てて説明する力を培うことができるように、じっくり考える時間を保障し、発言の機会を設ける。 ● 文章問題の構造を捉え、数直線や線分図などにして視覚化して表したりして、問題を整理していくようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然の事物・現象の性質や規則性などを理解し、器具や機器を目的に応じて工夫して扱いながら観察、実験などを行い、それらの過程や結果を適切に記録する技能を身に付ける。 ● 自然の事物・現象から問題を見だし、予想や仮説を基に観察、実験を行い、得られた結果を基に結論を導き出すといった問題解決の力を養う。第4学年では、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。 ● 植物の栽培や昆虫の飼育という体験活動を通して、生物を愛護したり生命を尊重したりする態度を育み、自然を愛する心情を養う。 ● 自然の事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら粘り強く問題解決するとともに、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみるなど、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題解決の各過程で、何をやるのか、何を考えるのかを理解させるために、問題解決の流れを繰り返し指導する。 ● 問題づくり・予想・実験の結果・考察など自分の考えを表現できるように、絵・図・表・文章・式などの表現方法を指導する。また、ノートに記述する時間を十分確保する。 ● 生活経験が少ない自然事象については、既習の内容を想起させたり、共通体験を取り入れたりとすることで、それらを基に根拠のある予想や仮説を発想できるようにする。 ● より妥当性のある結論を導き出せるように、個人の結果のみで考察するのではなく、クラス全体で結果の共有をしたり、結果からどのようなことが考えられるかを話し合わせたりする。 ● 一人一人が主体的に学習に取り組めるよう、実験器具など学習環境を整える。安全に実験に取り組むために、なぜ危険なのかという趣旨を説明するなど、指導を十分に行う。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲想と音楽の構造などとの関わりに気付き、音楽表現をするための基礎的な技能を身に付け、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくらせたりする。 ● 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、自分の思いや意図をもち、工夫しながら、進んで表現する。 ● 楽しく音楽に関わり、友達と協働しながら音楽の学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童が表現したり聴いたりする活動を通して「できる楽しさと喜び」を体感できるよう、児童の実態を把握して指導計画をたて、ねらいを明確にする。また、1時間の中で音楽に触れている時間が長くなるよう、授業の流れや発問を工夫する。 ● 児童が知覚・感受したことを基に自分の思いや意図をもち、音楽表現の工夫に結び付けられるよう手立てを工夫する。 ● 学習の振り返りを大切に、児童ができるようになったことを実感できるようにする。 ● 学習形態を工夫し、友達と関わりながら楽しく音楽活動できるようにする。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。 ● 見たことや感じたこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりする。 ● 手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する。 ● 身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いを捉えたり、よさや美しさを感じ取ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動中に賞賛や励ましの言葉を掛けたり、見本の提示を行ったりして、児童が自信をもって活動できるようにする。 ● 児童の工夫を取り上げて紹介して意欲を高めるとともに、造形的な観点のよさに気付かせる。 ● 基本的な用具の扱いを定着させる簡単な教材や、紙や粘土を使った手軽な教材を用いた造形活動を積み重ねていく。 ● 授業や友達の作品を見て、鑑賞カードに友達の作品のよいところを書くなどして、鑑賞の活動を広げる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種の運動の行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付ける。 ● 運動や健康についての自己の課題を見つけ、その解決に向けて方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 ● 各種の運動にすすんで取り組み、最後まで努力して運動をする態度を養う。 ● 各種の運動において、決まりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、安全に留意したりする。 ● 健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進にすすんで取り組む。 ● 改築工事で校庭が使用不可の現状や、感染症による社会的距離を踏まえ、限られた場所で可能な運動の仕方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動の基本となる動きや技能を身に付けさせるために、児童の発達段階や体力の状況に留意して、各種の運動の楽しさや喜びに触れ、活発に運動できる活動を設定する。 ● 運動の楽しさや喜びに触れることができるようにするために、運動をする場や練習の仕方などを工夫したり選択したりできるように準備する。 ● 自己の課題や解決に向けた方法・活動の工夫について、考えたことや学びの成果が蓄積できるように、学習カードを活用して言語化させる。 ● 運動のポイントや自分の動き・体の動かし方などを知ったり確かめたりできるように、図や映像資料、タブレットPCの録画機能を活用させる。 ● 自己の考えを深めたり、友達との良好な関係を築いたりするために、友達と考える場や伝え合う場を設定する。 ● 心身の発育・発達等を肯定的に捉えられるようにするために、発育・発達には個人差があることや成長は喜ばしい変化であること、自他の心と体の大切さについて、保健の学習に限らず伝えていく。